

委員派遣実績報告書

令和元年11月20日

米子市議会議長様

民生教育委員会
委員長 安田 篤



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する事例について調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

委員会名	民生教育委員会
期 日	令和元年11月11日 午前10時から午前11時
視 察 先 及び視察 内 容	【視 察 先】 NPO法人西部ろうあ仲間サロン会 (米子市両三柳4571-10) 【視察内容】 聴覚障がいのある方々が気軽に集まり交流できる 場の視察と当事者及び支援者との意見交換
参加者名	【委員長】安田 篤 【副委員長】安達卓是 【委 員】岡村英治、奥岩浩基、土光 均、三嶋秀文 矢田貝香織 【随 行】議会事務局 局長 先灘 匡 主任 安東智志
経 費	市のマイクロバス利用のため経費なし
委 員 会 所 感	別紙のとおり

(1) 視察の目的

所管に属する事務に関する事項の調査研究のため

(2) 視察（説明）要旨

- 会長あいさつ
 - ・西部ろうあ仲間サロン会の活動について
 - ・鳥取県内の聴覚障がい者の交流の場、情報取得の現状について など
- 西部ろうあ仲間サロン会の皆さん全員の自己紹介とひと言
- 質疑
- 手話勉強・交流
- 議員全員の自己紹介と感想
- 副会長あいさつ

(3) 主な質疑応答

Q1 サロンにはどれくらいの方がいらっしゃるのか。

A1 100名くらいの会員はいるが、普段は30名弱がいらっしゃる。スタッフは6名。

Q2 利用者さんへのフォローはどのようなことをされているか。

A2 情報提供を行ったり、来られない方に訪問したりしている。

Q3 会員さんの年齢構成は。

A3 20代～80代で、平均は70代。

Q4 手話言語条例ができての感想は。

A4 県の条例を補完する形であってほしい。

その他で災害時における行動が分からない。もっと細かな計画がほしい。

Q5 情報のやりとりはどうされているか。

A5 主にFAXかメールを使っている。なるべく会って話すようしている。

(4) 視察（説明）要旨に対する委員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

鳥取県内の聴覚障がい者が気軽に集まり交流できる常設型の場所が、「西部ろうあ仲間サロン会」であることと、当事者が高齢化、孤立化している状況の中で、行政支援に頼らない仲間サロン会の活動に感銘を受けた。

利用者さんとの交流を通じて感じたのは、情報交換・情報共有の場・コミュニティとしての「仲間サロン会」の意義であったり、聞こえない人の状況を地域の人に知ってほしいとの願いであった。訪問活動に力を入れ、出会って状況を確認し合うことを大切にされていることからその意味が実感できたと思う。

また、米子市でも手話言語条例を制定したものの、手話を習得し意思疎通の困難さ解消には至っていないことを痛感した。

サロン会は鳥取県の西部市町村から支援を受けての運営だが、日本財団をはじめ協力団体等から助成金や物品支援などで支えられており、県西部広域から通うメンバーの送迎や食材など、メンバー相互の支え合いで成り立っていた。施設についても、持ち主の理解のもと改修を重ねての現状だが、十分な広さではなかったことから、支援強化の必要性を感じた。

民生教育委員会行政視察行程表

◎参加者9名（委員7名・随行者2名）安田委員長、安達副委員長、岡村委員、奥岩委員、土光委員、三嶋委員、矢田貝委員
 随行者：先灘議事事務局局長 安東議事調査担当主任

月 日	行 程	備 考
11/11 (月)	9:35 市役所東側玄関集合 9:40 米子市役所 ----- バス 9:55 ----- サロン 11:05 ----- バス 11:20 米子市役所 ・施設の視察 ・手話講座等の視察	会場までは市のマイクロバスにて移動